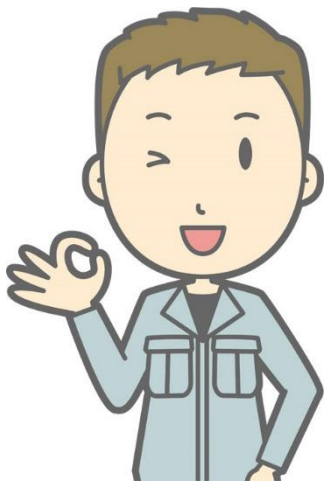




## 【マンション】

# リモデル現場調査マニュアル



# リモデルでは、確実に現場調査を行うことが お客様満足の上につながります！

本冊子は、現場調査訪問を実施している方を対象と  
しています。

見積書を作成するために必要なユニットバスの品番は、  
現場調査を実施することで正確に作成することができます。  
まずは品番に関わる情報を確実に調査し、  
その後、沢山ある調査項目を一つ一つ確認しましょう。

## INDEX

### 【工事工程とユニットバスの品番について】

- |                           |    |   |
|---------------------------|----|---|
| 1. 正確に現場調査を行うと仕事がスムーズ！    | P. | 3 |
| 2. 時間が無い時でもここだけは確実に調査しよう！ | P. | 4 |
| 3. ユニットバスのサイズ・ドア位置・架台について | P. | 5 |

### 【現場調査方法】

- |                    |    |    |
|--------------------|----|----|
| 1. 《サイズ》 平面の採寸     | P. | 6  |
| 2. 《サイズ》 立面の採寸     | P. | 9  |
| 3. 《ドア位置》 ドアまわりの採寸 | P. | 11 |
| 4. 《窓部品》 窓まわりの採寸   | P. | 12 |

### 【仕様変更・追加注文の部品】

- |                    |    |    |
|--------------------|----|----|
| 1. 仕様変更・追加注文の多い 部品 | P. | 13 |
|--------------------|----|----|

### 【良く出る単品品番一覧】

- |                             |    |    |
|-----------------------------|----|----|
| 1. ボルト・床接着剤ルビロンK・既設窓アタッチメント | P. | 15 |
|-----------------------------|----|----|

# 正確に現場調査を行うと仕事がスムーズ！



リモデル工事では後工程のことを考えて「仕事キッチリ♪」

## 一般的な浴室リモデル工事工程

1. 引き合い
2. **現場調査（解体前）**
3. 見積書作成（仕様決め）
4. 契約（工事日決定）
5. 注文
6. 浴室工事スタート（解体）
7. **現場調査（解体後）**
8. 設備配管
9. ユニットバス組立
10. 引渡し（取り扱い説明）



まずは、マンションの管理事務所に挨拶をしましょう！  
工事作業時間や駐車ルール建築図など確認できます。



正確な注文は、仕事をスムーズする！  
だから、解体前の現場調査はとても重要です。



**解体前の現場調査情報で正確に注文すれば、解体後の調査後に仕様変更することもないよね～**

納品直前の変更にはこんなことが…

- ◇メーカーへ仕様変更手配
- ◇納期に合せた工事日の延長・延期
- ◇工事日程の作り直し
- ◇お客様からの信用不振

## 教訓

ご契約通りの日程でスムーズに完了する事は信用への第一歩。

時間が無い時でもここは確実に調査しよう！



TOTOのユニットバス品番は、**シリーズ・サイズ・タイプ**  
**・ドア位置・架台** 5つの情報で出来ている！

マンションの場合は現場調査時「**サイズ**」「**ドア位置**」2つの情報を確認すれば本体品番が出来ます。※下記、本体品番例参考

## TOTO ユニットバス品番構成

### 【本体品番例】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
※	※	V	1	4	1	8	J	X	X	※	A	K
【①シリーズ】		【②サイズ】				【③タイプ】		【④ドア位置】 【⑤架台】				

品番に関わる2つの情報 ※色塗り部

<情報入手箇所>

【①シリーズ】→ 本体品番の1桁目～2桁目

カタログ記載

【②サイズ】→ 本体品番の4桁目～7桁目

現場調査

【③タイプ】→ 本体品番の8桁目

カタログ記載

【④ドア位置】→ 本体品番の12桁目

現場調査

【⑤架台】→ 本体品番の13桁目

カタログ記載

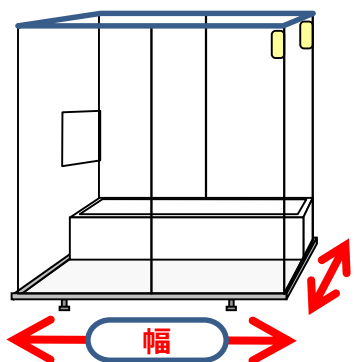
### 教訓

正確な品番をつくるには、現場のUB【サイズ】【ドア位置】  
2つの情報を確実に調査しましょう。

# ユニットバスのサイズ・ドア位置・架台について

## ユニットバスの「サイズ」

※本体品番 4桁目～7桁目



奥行

幅

本体品番では、ユニットバスのサイズを幅2桁、奥行2桁の数字で表示している。

【例】

<0.75坪サイズ>

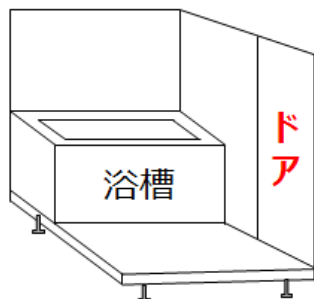
◆幅 1200mm + 奥行 1600mm = 1216

<1.0坪サイズ>

◆幅 1600mm + 奥行 1600mm = 1616

## ユニットバスの「ドア位置」

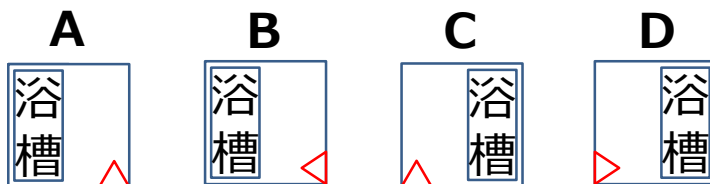
※本体品番 12桁目



※図1

本体品番では、浴槽と入口の配置によりA/B/C/D 4つの英字で表示している。

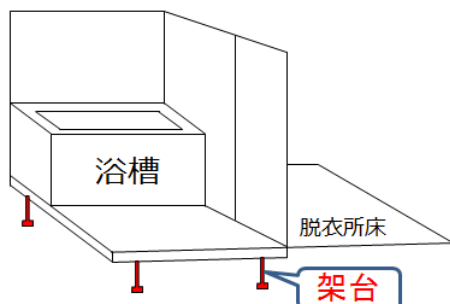
<浴室を上から見た図>



※ちなみに図1はドア位置「C」

## ユニットバスの「架台」

※本体品番 13桁目



本体品番では、「架台」と呼ばれる浴室を支える脚を13桁目に「K」の英字で表示している。

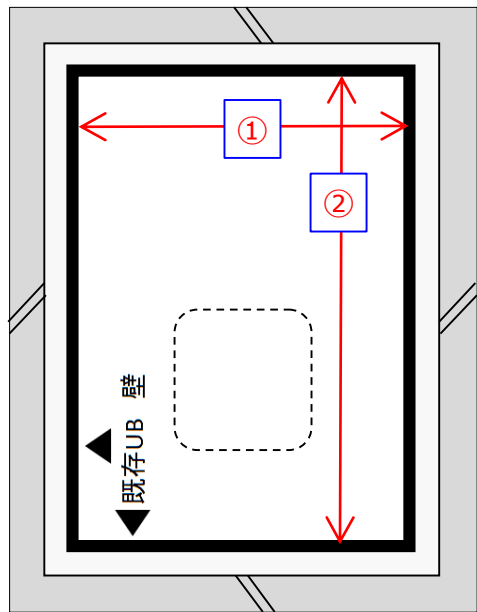
### 【ワンポイントアドバイス】

マンション UBの架台は1種類。

マンションは、各階の階高が低く造られる傾向にあり、納まるのが優先されるため短い架台1種のみ品揃え。

# 平面の採寸

サイズを決定するために浴室内を採寸



※図 1

<採寸箇所> ※図 1

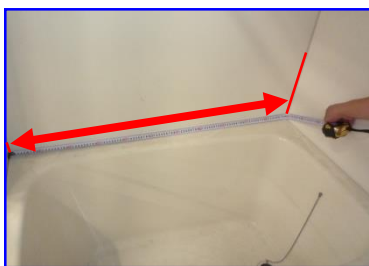
①既存UBの室内 短辺側 (壁の内側～内側)

②既存UBの室内 長辺側 (壁の内側～内側)

## 【ワンポイントアドバイス】

お施主様が、現状の浴室サイズで十分に満足されている場合は、同じサイズのUBを提案すれば良いので、既存UBの室内寸法を採寸するだけで、提案するUBサイズを決定できます。

このように採寸しよう



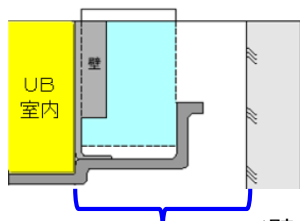
## 【ワンポイントアドバイス】

浴槽の縁を活用し、メジャーの帯を平行に保ち採寸。  
※斜めに採寸すると誤差がでます。

平面スペースの寸法をキッチリ採寸せず、曖昧な品番で注文すると、後工程でUBサイズの仕様変更が発生します。

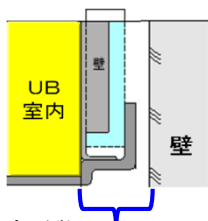
ユニットバスの壁裏構造の違いからわかること

従来



壁裏の寸法 「大」

現状



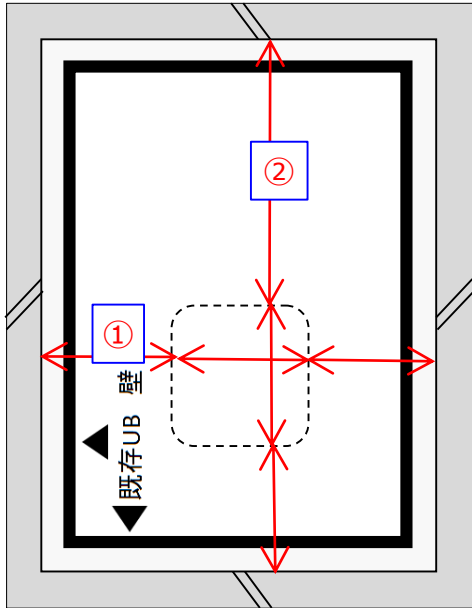
壁裏の寸法 「小」

<壁部断面イメージ>

現在のTOTOUBは、独自のスリム構造により従来のUBよりも壁裏に必要とする寸法が少ないため、ワンサイズ大きいUBをご提案できる場合があります。

# 平面の採寸

ワンサイズ大きなU Bが納められるかを判断するために浴室外を採寸



※図2

<採寸箇所> ※図2

①短辺側 (建築壁の内側～内側)

②長辺側 (建築壁の内側～内側)

## 【ワンポイントアドバイス】

建築壁の内側寸法を採寸することで、ワンサイズアップのご提案につながるかも知れません。

天井裏に障害物があった場合には、必ず位置とサイズを採寸すること。

(障害物例：換気ダクト／ 上階の排水管)

このように採寸しよう



- ◇ U B天井裏の空間はととても狭く、採寸しづらいのでU B天井点検口を活用して採寸。天井点検口の縁を起点して、建築壁までの内寸を採寸。



※点検口縁の分割ポイントは左上 図2 参照

脚立を  
忘れずに！

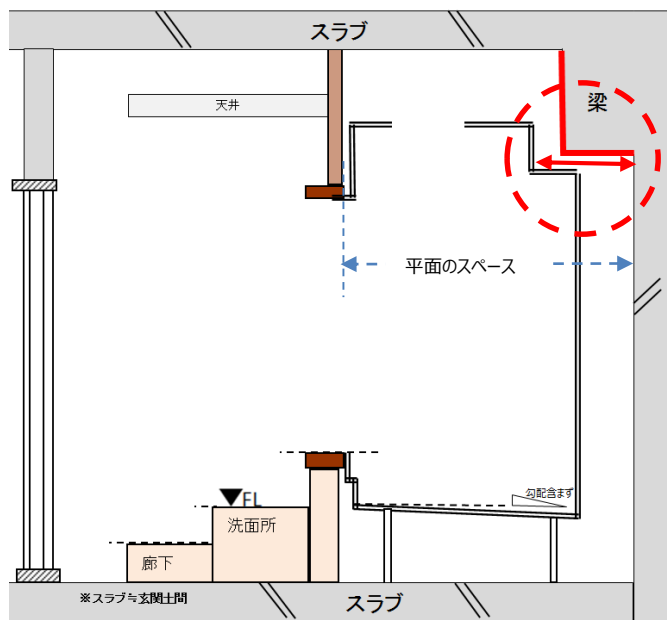


《注意》

脚立を置く場所にはキズ防止の養生をすること。

# 平面の採寸 + 天井梁

## ユニットバスの天井裏に梁があった場合の採寸

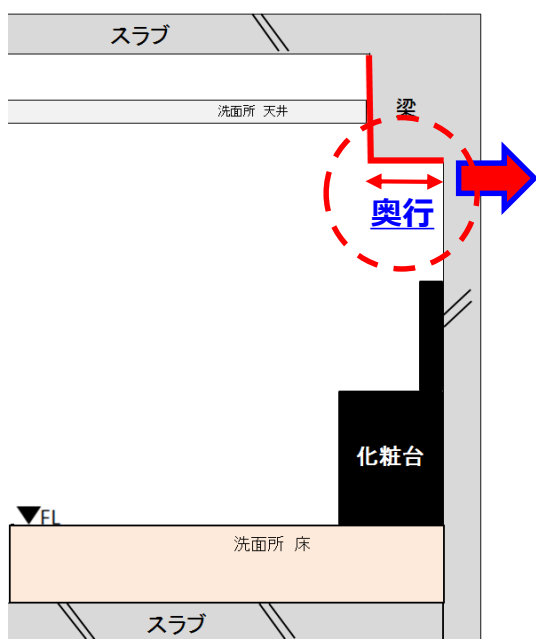


➡【梁があると・・・】  
天井点検口から採寸しようとしても梁が  
じゃまで採寸出来ない箇所があります。  
※採寸が出来ない部分の方法例を下記

【ワンポイントアドバイス】  
梁の奥行寸法を採寸して、設置スペースに  
合ったU Bサイズを提案しましょう。

## このように採寸しよう

### 隣の部屋を活用した梁の奥行寸法の採寸方法（例）

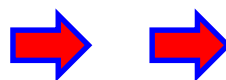


※図 3

#### <採寸箇所>

※図 3

#### ① 梁の奥行



#### 【採寸 例】

隣の部屋にも浴室と同じ様に梁があれば、奥行を  
採寸できます。（トイレ・洗面所など）

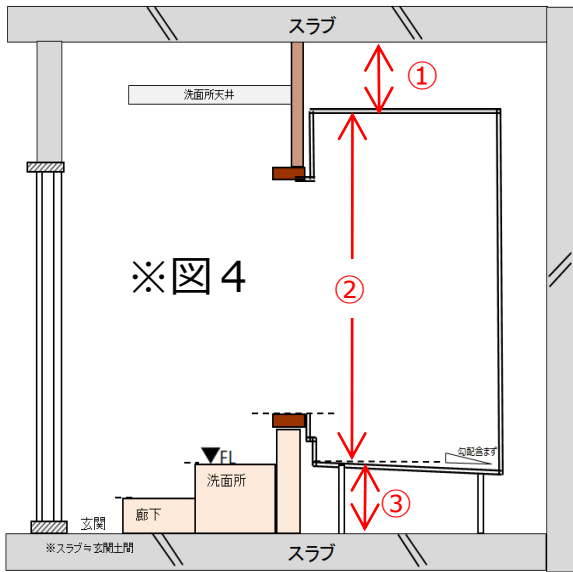
※採寸した梁の奥行寸法は、7ページ図2で点検口の  
縁を起点に採寸した寸法に足すのを忘れずに！

【ワンポイントアドバイス】  
建築の構造上、基本的に同じ階では  
「同方向」「同サイズ」の梁が設けられて  
いる事が多いので活用しましょう。



# 立面の採寸

ユニットバスの高さ全体が納まるかを判断するために採寸



※図 4

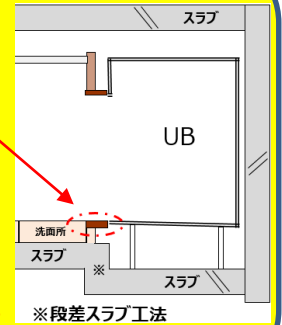
<採寸箇所>

※図 4

- ① UB天井室内側表面～建築天井スラブまで
- ② UB床表面～ UB天井室内側表面
- ③ UB床表面～建築床スラブまで

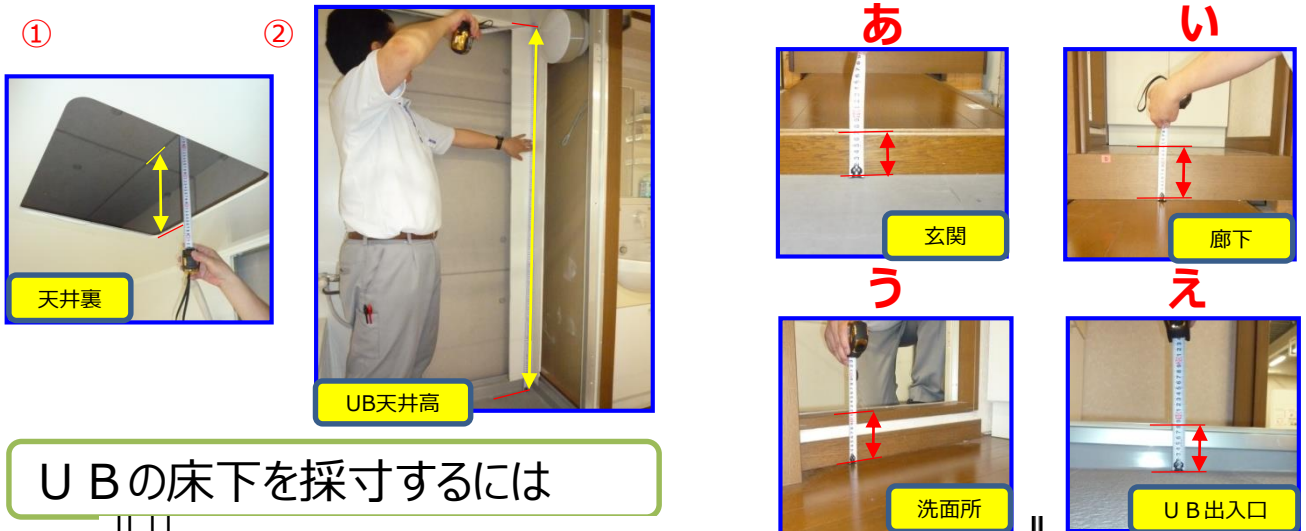
【ワンポイントアドバイス】  
既存UBの出入り口が  
バリアフリーの時は要注意。

UB全体が周囲床スラブ  
よりも低く設置（段差スラブ工法）  
されている可能性があり、  
左図4の③が採寸ができない  
場合があるので、建築図や現場  
情報等入手し架台の納まりを検討しましょう。

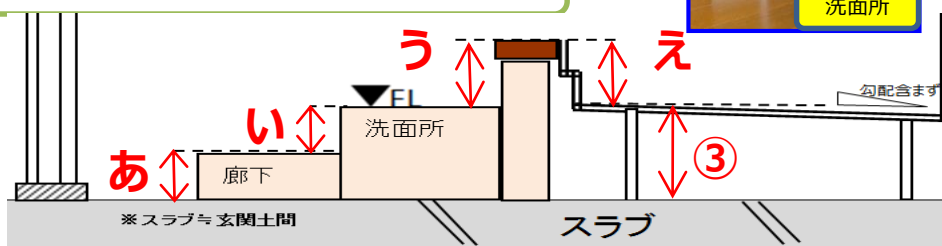


※段差スラブ工法

このように採寸しよう



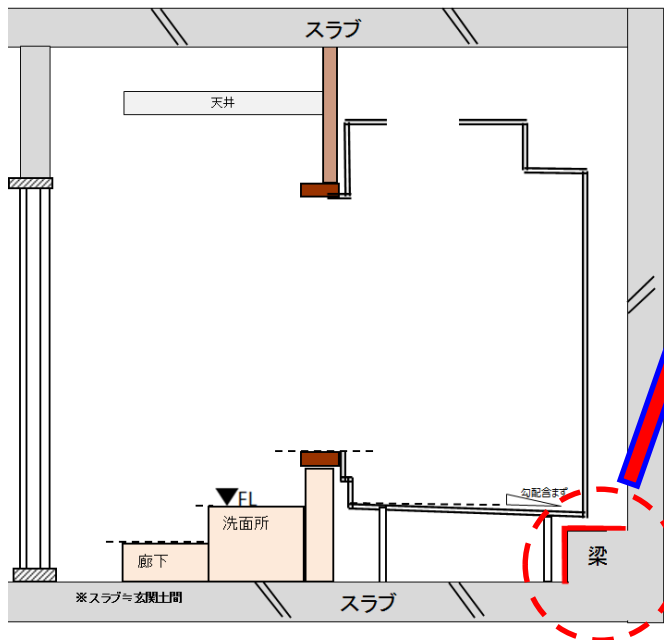
UBの床下を採寸するには



$$\text{あ} + \text{い} + \text{う} - \text{え} = \text{③}$$

# 立面の採寸 + 逆梁

## ユニットバスの床下に逆梁があった場合の確認方法



【逆梁があると・・・】

ユニットバスの床に干渉する場合はU Bの床高さを下げることが出来なくなります。

《注意》

じゃまだからと言っても  
構造物の解体は絶対ダメ！



【ワンポイントアドバイス】

梁は建物の構造を支える重大な役割があるので解体してはいけません。

## 逆梁はこのように採寸しよう



※図 5

【逆梁の確認方法 一例】

図 5 の様にスケールを天井点検口からユニットバスの壁裏へ差し込み周囲 4 方向を確認し寸法（高さ）の違いで逆梁の存在を確認。

※周囲の寸法と比べて短寸箇所があったら、そこが逆梁の可能性あり。

【ワンポイントアドバイス】

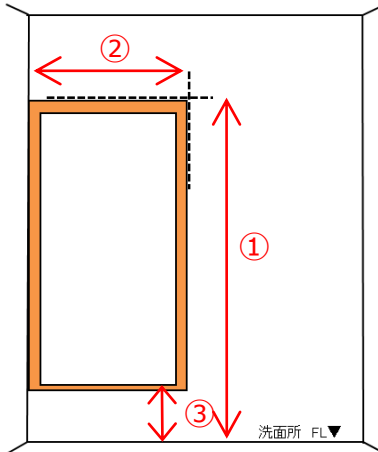
逆梁があったら要注意。

逆梁とU Bの床が干渉しないように、架台や束石を使って嵩上をする事があります。その場合設置するU Bの天井高も高くなるので天井裏の干渉に要注意。

必要に応じ梁カットパーツを手配して、干渉を避けましょう。

# ドアまわりの採寸

ドアの納まりを判断するために採寸



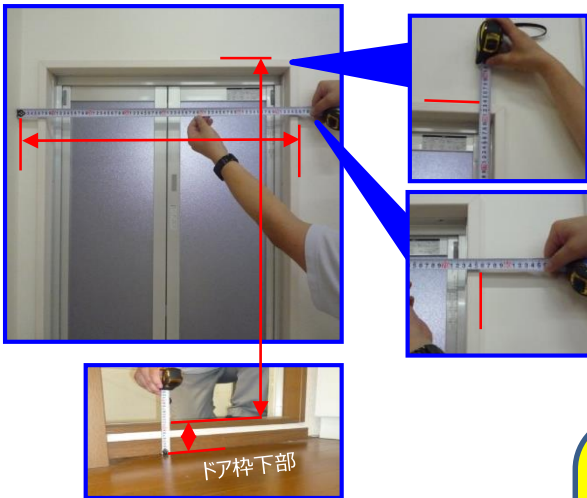
※図6

<採寸箇所> ※図6

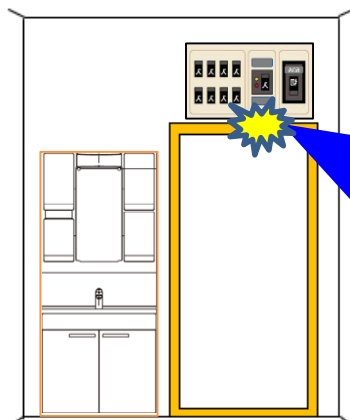
- ① 洗面所 F L ~ ドア額縁の上端まで
- ② 壁コーナー ~ ドア額縁の横端まで
- ③ 洗面所 F L ~ ドア枠下側まで

※マンションは建築の状況により「浴室入口 段差なし (バリアフリー) になる」と言い切る事はできません。

このように採寸しよう



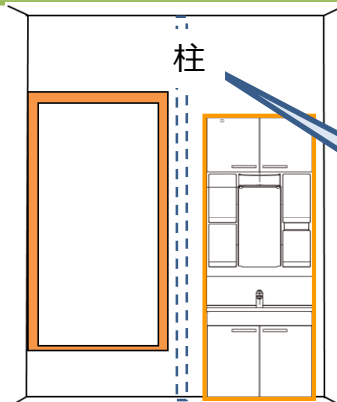
こんな場合は短寸ドアを手配しよう



ドアの上に干渉物があって標準ドアを設置するスペースが無い！

そんな時は、短寸ドアで対応！

間仕切り壁内の柱について



撤去可

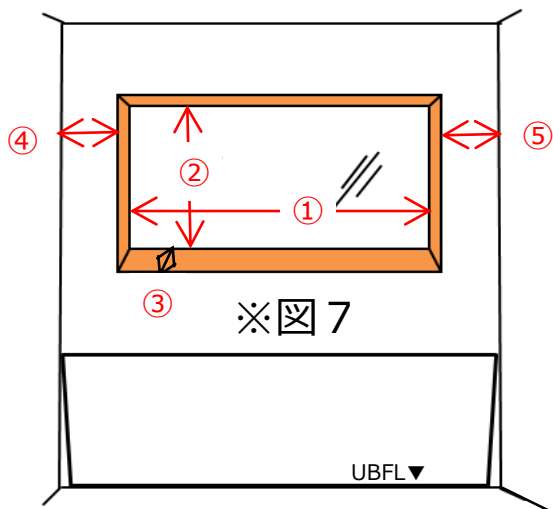
◇浴室と洗面所の間仕切り壁に使用されている柱は、戸建とは異なり、上からの荷重を支えていなので撤去可能。

【ワンポイントアドバイス】

図6の①②周囲に干渉物があり、標準のドアサイズが設置できない場合には、ドア納まりをカタログ資料集のドア詳細図に記載の「額縁開口高、幅の寸法に額縁の厚みを含めた寸法で判断しましょう。TOTOマンションUB用短寸ドア1900ミリ／1850ミリ1800ミリサイズの品揃えがあります。

# 窓まわりの採寸

フリーサイズ窓枠の幅/高さ/奥行のサイズを選定するために採寸



<採寸箇所> ※図7

- ① 幅 = 窓サッシの端 ~ 端
- ② 高 = 窓サッシの下端 ~ 上端
- ③ 奥行 = 窓周囲壁 ~ 窓サッシ
- ④ 壁左コーナー ~ 窓サッシ (アングルピース)
- ⑤ 壁右コーナー ~ 窓サッシ (アングルピース)

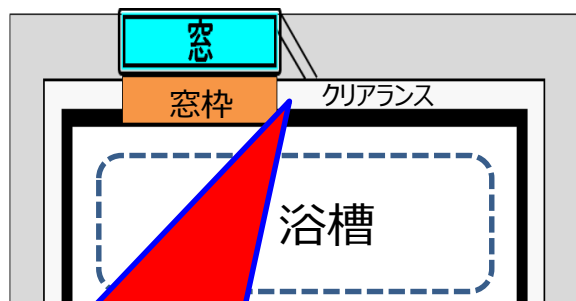
【ワンポイントアドバイス】

窓の両脇 ④と⑤の寸法が100ミリ未満の場合は既設窓アタッチメントを手配しましょう。

このように採寸しよう



フリーサイズ窓枠の奥行サイズを決定するためのポイント！



既存の窓枠の奥行寸法以上を選択する。  
※壁裏のクリアランスを考慮した寸法で窓枠の奥行を選択することで、寸法不足の防止につながります。

<採寸結果>

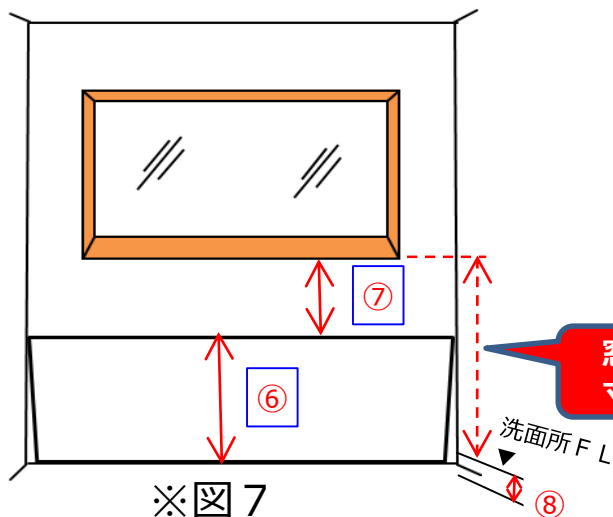
- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| ◇ 80ミリ~180ミリ程度の場合  | <選択するサイズ><br>奥行200ミリサイズ |
| ◇ 180ミリ~280ミリ程度の場合 | 奥行300ミリサイズ              |
| ◇ 280ミリ~430ミリ程度の場合 | 奥行450ミリサイズ              |

現状設置されている窓枠の奥行寸法以上の奥行サイズを手配すればOK

選択するフリーサイズ窓枠の奥行寸法が不安な場合は、ワンサイズ大きい奥行サイズを選定しましょう。

# 窓まわりの採寸

浴槽と窓の干渉「有・無」を判断するために採寸



<採寸箇所> ※図7

⑥ 浴室床面 ~ 浴槽フチ

⑦ 浴槽フチ ~ 窓下

⑧ 入口段差

窓下寸法

⇒ ⑥ + ⑦ - ⑧ = 洗面所FL ~ 窓下寸法

※図7

## 【ワンポイントアドバイス】

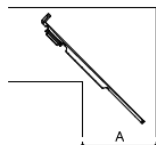
窓下を採寸することで、「窓と浴槽との干渉」や「浴槽横インテリアバーを設置するスペースの有・無判断ができます。

# 搬入経路の採寸

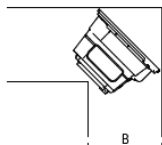
## 搬入経路の目安

■ 搬入経路の目安

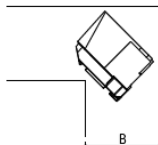
■ 床



■ 浴槽



■ 断熱防水パン



<採寸箇所>

◆ エレベーター

◆ 非常階段

◆ 玄関から浴室までの搬入経路

上記各所 扉を開けた状態で採寸

全サイズ		全サイズ	
A	700mm以上	B	ゆるり浴槽 : 700mm以上 ラウンド浴槽 : 700mm以上 クレイドル浴槽 : 700mm以上 ワイド浴槽 : 750mm以上 断熱防水パン : 700mm以上

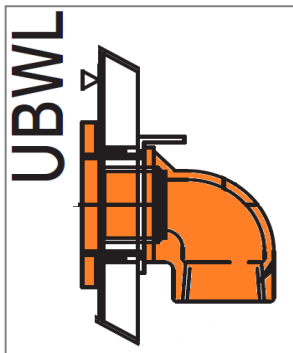
※ 1

※ 2

※1※2 最新カタログ、資料集の「搬入開口」掲載寸法を確認下さい。

# 仕様変更・追加注文の多い部品

## 給水・給湯エルボ



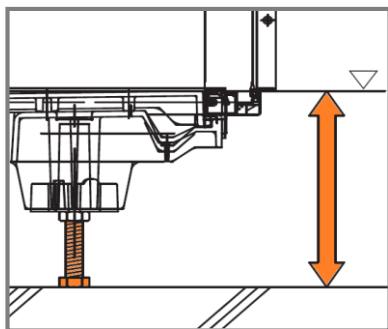
### <現場で先行してエルボが必要な場合>

セレクト記号 D H E 2 3 を選択することで  
給水・給湯エルボ部品を「同梱なし」にできます。  
※先行で送る給水・給湯得エルボは別途手配ください。

#### 【ワンポイントアドバイス】

設備店からの急な要望に備えて、エルボは常に在庫  
しておくくと二度手間にならない事があるのでおすすめ。

## 高さ調整ボルト Fフラット床用オプション

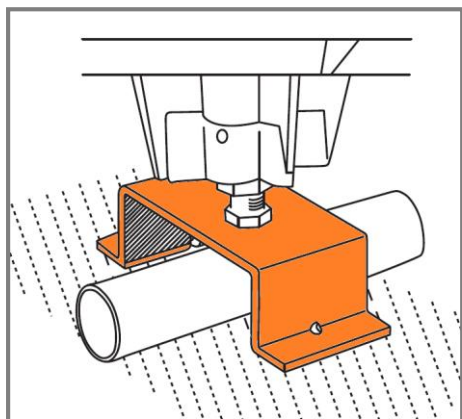


### <UB据付面～洗面所FLの寸法が 232ミリ～277ミリの場合>

基本仕様の架台では、寸法が足りず対応できない場  
合に「高さ調整ボルトを使用してください。

セレクト記号  
調整範囲H232～277ミリ : C T A 0 2

## 床支持脚部 配管対応金具 (洗い場側専用)



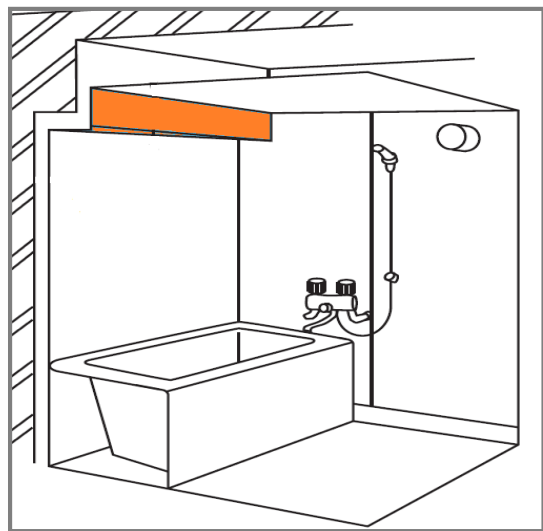
### <現場の既設配管にUB床支持脚が 干渉する場合>

40ミリまでの太さの配管を避ける事ができます。

単品手配時の品番  
支持脚部 配管対応金具 : EKC24110

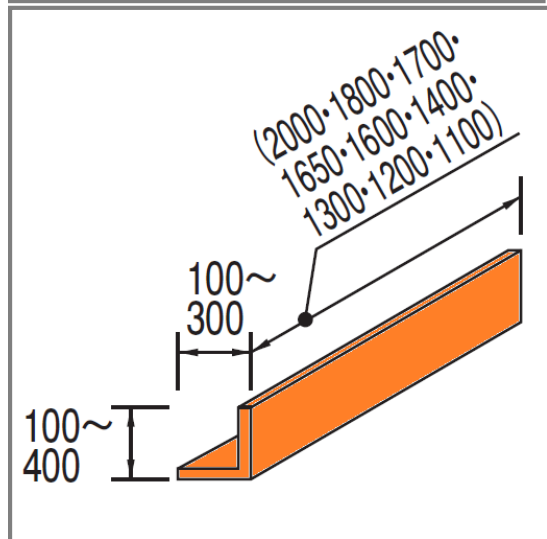
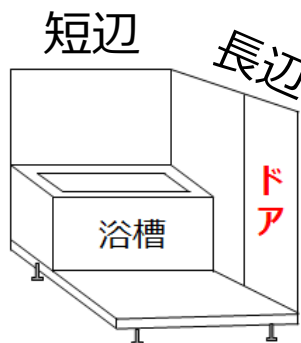
# 仕様変更・追加注文の多い部品

## 梁カット用部材



### <現場の梁とUBが干渉する場合>

現場で梁カット対応が可能です。  
梁に合わせた寸法を現場でカットできます。



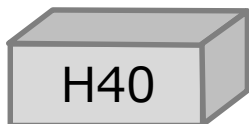
### セレクト記号

VWH 0 1	(短辺用 1 1 0 0)	ZPUBI391
VWH 3 1	(短辺用 1 1 0 0)	ZPUBI392
VWH 0 2	(短辺用 1 2 0 0)	ZPUBI393
VWH 0 3	(短辺用 1 3 0 0)	ZPUBI394
VWH 0 4	(短辺用 1 4 0 0)	ZPUBI395
VWH 0 5	(短/長辺用 1 6 0 0)	ZPUBI397
VWH 0 6	(長辺用 1 6 5 0)	ZPUBI398
VWH 0 7	(長辺用 1 7 0 0)	ZPUBI399
VWH 0 8	(長辺用 1 8 0 0)	ZPUBI401
VWH 2 0	(長辺用 2 0 0 0)	ZPUBI402

## コンクリートブロック

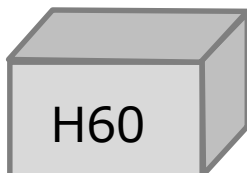
### <UB全体の嵩上が必要な場合>

コンクリートブロックは、最大2段まで重ねる事が可能。  
コンクリートブロックどうしもルビロン (EKC901N\*) でしっかり固定



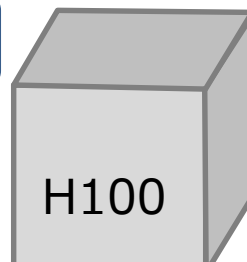
サイズ W100×D100×H40

品番 EKC21002



サイズ W100×D100×H60

品番 EKC00001



サイズ W100×D100×H100

品番 EKC00002

**TOTO**

2022.03改訂版